

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日 (18:30 ~ 19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	1人	12人

前回の改善計画  
①職員間での情報共有については、連絡ノートに記載するとともに、午前と午後にミーティングの時間を設け、伝達する。②利用者個々のニーズを一覧表にし、可視化することで職員への意識付けを図り、ニーズに応じた支援を行う。③新規利用者については、職員が橋渡しとなり、他利用者と馴染めるような雰囲気を作り、不安を取り除くようにゆっくりと関わる時間が持つように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
① 職員間の情報共有については、連絡ノートに記載し、さらに口頭で伝達することにより情報共有を行うことはできたが、ミーティングの時間を設けることはできなかった。②利用者の個々のニーズを一覧表にすることはできなかったが、利用者の想いに副うような支援に努めた。③新規利用者については、職員が他利用者との橋渡しとなり、馴染みやすい雰囲気作りに努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	4	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	5	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	0	1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	4	5	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①業務前に日誌や連絡ノートを確認し、また口頭で伝えることにより情報共有に努めた。②普段の関わりで得たニーズに応じた支援に取り組むことができた。③新規利用者に、送迎時や事業所での生活の中で利用者の想いを傾聴したり、都度、言葉をかけたりして、他利用と馴染めるように努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
①日々の午前・午後のミーティングの時間がとれなかった。②利用者の個々のニーズを一覧表にできなかった。自分の想いを言葉にすることが難しい利用者の必要としている支援が何か把握できなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
①職員間での情報共有については、引き続き連絡ノート・個別ノートに記載するとともに、午前・午後にミーティングを設け、共通認識を図り、支援の統一に努める。また、日々のミーティング時間を10時50分、13時15分に決めることで意識付けを図る。②個別ノートを作成し、聴き取った利用者のニーズや想いを記載し情報共有を図り、思いに寄り添った支援に努める。③新規利用者については、信頼関係を構築するため、日々の関わりの中で不安を取り除き、安らげる居場所作りに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日 (18:30 ~ 19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	7人	5人	12人

前回の改善計画
①引き続き、定例会議にて、各職員が聞き出した利用者の想いの摺り合わせを行うとともに「目標」の実行や実現状況を確認する。②聞き出した利用者の想いについては、個人別ノートを作成し、したことに加え、実行できたことも記載することで、実行状況を職員間で共有する。③利用者の想いを聴き取るよう、日々の関わりの中で常に意識しながら会話する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①日々の生活の中で、利用者から聞き出した「～したい」を実現するため、職員間で話し合い、実行できるように努めた。②個別ノートを作成することはできなかったが、利用者の想いに副った支援を実行できるように連絡ノート・口頭などで情報共有を行い、実行状況を確認した。③利用者の想いを聴き取れるような支援に努めたが、自分の想いを言葉にできない利用者の「～したい」を聴き取るまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	0	5	7	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	0	5	7	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	0	5	7	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	0	4	8	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①日々の生活の中で聞き出した「～したい」の実現に向け、本人・家族と相談しながら実行している。②利用者の要望・想いなど、連絡ノートに記入したり口頭で伝達したりしていることにより情報を共有している。③自分の想いを伝えられる利用者の「～したい」については、実現できるように努めている。また、自分の想いを伝えられない利用者の想いを表情や仕草で読み取るように努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①個々の利用者の目標が把握できていないところもあり、「～したい」を目指した関わりが不十分である。②個別ノートの作成ができておらず、職員間の共有も不十分なため、支援の統一には至っていない。③想いを口にできない利用者の想いを職員が代弁できていない。また、自分の想いを口にできる利用者は「～したい」ではなく「～して」の関わりになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①各職員が聞き出した利用者の想いを個別ノートに記載することで、「目標」を職員間で共有し、支援の統一を図る。②自分の想いを表現できるようなレクリエーションを行うことで、「～したい」の聴き取りに努める。③日々の関わりで気になったことなど、個別ノートに記入するように意識付けを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日 (18:30 ~ 19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	①利用者の現存機能を職員全員が把握し、できない部分を支援するように取り組む。②支援の統一を図るため、連絡ノートへの記載に加え、職員同士で確認し合える雰囲気づくりに努める。③疾病や障害により想いを伝えられない利用者については、表情やしぐさを確認しながら会話をすすめて、抱えている想いの把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	①現存機能の把握に努めたが、本人のできない部分だけでなく、できる部分まで支援していることがあり、職員間での統一が不十分なところもあった。②連絡ノートへの記入はできており、その内容を職員同士で確認しながら業務にあたるよう努めた。③疾病や障害により伝えられない利用者の抱えている想いを理解するように努めたが、業務や他利用者への支援を優先してしまい、会話まで繋がっていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	5	5	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	2	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	2	9	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	2	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	3	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①連絡ノートや口頭で現存機能の共有を図り、できる部分まで支援している時は、お互いに声をかけ合い、支援の統一に努めた。②連絡ノートを確認し、分からないことは職員同士で確認し合い支援を行った。③支援中、利用者の表情や仕草を確認しながら体調の変化に早く気付くように努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①支援が重なると業務をこなすことを優先し、できる部分まで職員が行っていることがある。②多岐にわたる業務から時間が取れず、連絡ノートに記入できていないことがある。また、その日出勤している職員だけで共有していることがある。③訴えの多い利用者への対応や業務優先により、想いを伝えられない利用者への関わりやコミュニケーションが後回しになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①利用者の現存機能を把握するため、日々のミーティングや連絡ノート・個別ノートを活用し、都度、職員同士で確認することで支援の統一を図る。②利用者の抱えている想いを把握するため、表情や仕草だけでなく、送迎時の家族からの情報やレクリエーション活動時に言葉をかけ、世間話などを通じて、情報を収集する。また、話しやすい雰囲気の中でコミュニケーションを図りながら、抱えている想いの把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月24日(18:30 ~ 19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	6人	4人	12人

前回の改善計画  
①送迎時や訪問時に直接関わっていない時間帯の過ごし方や人間関係について聞き出す。②引き続き聞き出した情報については、日々のミーティングで報告するとともに連絡ノートに記載し、共通認識を図る。  
③地域資源の一覧表を作成し、利用者の暮らしに必要な資源の把握に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
①利用者の生活スタイルや家での生活については、送迎時や訪問時・入浴時・レクリエーション時など、日々の何気ない会話の中から聞き取り、職員間で共有している。②日々のミーティングの時間を取ることができず、連絡ノートに記載するのみとなっている。③現在、利用している社会資源は把握しているが、それ以外に必要なものがあるのか、確認できておらず、地域の社会資源の一覧表の作成はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	7	3	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	1	4	7	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	5	6	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	3	9	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①今、利用者に必要な社会資源を利用者や家族に提案している。②日々の生活の中で、何気ない会話から自宅の様子を聴き取ったり、送迎時に家族と話したりしていることで、暮らしの把握に努めている。③利用者ごとのファイルから情報を得て、個々に応じた支援に努めた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域行事が中止となり、利用者の参加が適わなかった。②地域の社会資源の一覧表が作成できず、また、事業所近隣以外の利用者の情報を得ることができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
①24時間シートを活用し、直接、関わっていない時間帯の過ごし方を把握することで、利用者一人ひとりのライフスタイルに合わせた個別ケアを行う。②日々の利用者との関わりや家族からの情報などを個別ノートに記載するとともに日々のミーティングで報告することで、共通認識に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月27日 (18:30 ~ 19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	2人	12人

前回の改善計画	①日々の関わりの中で気づいた利用者の「変化」については、気づいた時にすぐに記載できるように検温表を活用する。また業務終了時に検温表を確認し、連絡ノートに転記する。②「小規模多機能型居宅介護」の利用のあり方に関して、職員間で学ぶ場を設け、理解を深めた上で利用者本人の状態やニーズに合わせた柔軟な支援の実現につなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	①日々の関わりの中で、検温表・日誌・連絡ノート・口頭で、利用者の変化を把握して、職員間で共通認識に努めたが、それを確認する場がなかった。②「小規模多機能型居宅介護」の利用のあり方、できること・できないこと、小規模多機能の強み、利点・欠点などを学ぶ場を設けることもできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	5	5	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	7	3	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	0	9	3	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者の表面的な変化については、連絡ノート・日誌・口頭で伝達することで情報共有に努めた。②日々の泊まり、通い、利用者の変化、家族のニーズに応じて、日々の柔軟な支援の調整に努めた。③利用者の日々の変化に応じて、食事の内容や形態の変更を行っている。④排泄・入浴など体の変化に気付いた時は、すぐに報告した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①利用者の内面的な変化や気づきを検温表に記載し、活用するまでには至らなかった。ミーティングの時間を設けることができず、口頭や連絡ノートでしか確認できなかった。②「小規模多機能型居宅介護」の利用のあり方、他の施設との違い、メリット・デメリット、できること・できないことなど、利用者に支援するにあたり、必要なことを学ぶ場が持てなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①本人のニーズに応じた支援ができたかどうか、業務チェック表に「ニーズに合わせた支援」の項目を追加することで振り返る機会を作る。②日々の利用者の変化・気づきをミーティングや検温表を用いて共通認識を図り、定例会議にて確認する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年9月27日 (18:30 ~ 19:30)

6. 連携・協働

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	0人	2人	9人	12人

前回の改善計画
①新型コロナウイルスの発生状況を確認しつつ、引き続き、広報誌や掲示板の掲示内容に加えて、地域包括支援センターからの情報収集に努め、地域の催しや行事などを利用者に発信する。②感染予防対策を行いながら、利用者が希望する行事や催しがあれば、地域の各種機関・団体に働きかけ、参加調整を行う。③日程調整を行い、訪問看護や福祉用具事業者とのサービス担当者会議を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
①新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などから地域の催しや行事などが中止や延期され、ボランティアとの交流、百歳体操なども行われていない。利用者は感染予防対策を十分に講じた事業所内のイベントには参加している。②地域の行事は中止や延期されており、参加調整も適わない状況にある。③訪問看護や福祉用具事業者とは、感染予防対策を講じ、利用者を交えて、情報交換を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	0	11	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	0	12	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	0	0	12	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	0	12	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①利用者・職員・事業所内の感染予防対策を行い、利用者、職員のマスクの着用、手指消毒、うがい、手洗い、事業所内の消毒を行っている。②地域行事には参加できないが、感染予防対策を十分に講じ、事業所内で代替のイベントを行っている。③訪問看護や福祉用具事業者とは、感染予防対策を講じ、利用者を交えて、情報交換を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①新型コロナウイルス感染拡大防止から地域ボランティアなど行事は中止や延期されているため、参加がかなわない。また、新型コロナウイルスの発生前は、系列保育園の園児たちとの交流やいきいきサロン、いきいき百歳体操など地域の高齢者の訪問もあったが、感染症予防対策から訪問や交流もかなわない状況にある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①新型コロナウイルスなど感染予防対策を徹底し、広報誌や掲示板の掲示内容に加えて、地域包括支援センターからの情報収集に努め、地域の催しや行事などを利用者に発信する。②感染予防対策を徹底し、利用者が希望する行事や催しに参加できるように支援する。③訪問看護や福祉用具事業者とは、引き続き日程調整を行い、サービス担当者会議を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日 (18:30 ~ 19:30)

7. 運営

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	8人	8人

前回の改善計画	①支援に対する考え方や方向性の統一を図るため、日々のミーティングで話し合える時間を設ける。②引き続き定例会議にて、事業所のあり方や運営に関する質疑応答や意見交換の場を設ける。③事業所内外で地域行事が催される時には、感染予防対策を行いながら、地域住民との交流を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	①支援の統一を図るため、連絡ノート・口頭での申し送りなどを活用したが、ミーティングの開催はできなかった。②新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議やミーティングは時間をかけてすることができず、事業所のあり方や運営に関する話し合い、意見交換の場を設けることはできなかった。③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域行事、地域住民との交流を図ることもできず、事業所内での行事や催しにとどまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	1	3	8	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	7	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	0	9	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	1	10	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①意見箱は設置しており、職員や利用者が匿名で意見を書け、苦情についても、その都度、改善策を検討し、再発防止に努め、玄関に提示している。②できる限り支援の統一を図るため、利用者ごとの連絡ノートや口頭で、一人ひとりの状態などを確認し、意見交換を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①コロナ禍で、地域との交流や行事などが中止となり、交流や参加には至らなかった。②意見箱はあるが、あまり活用できていない。③運営・事業のあり方を学ぶ機会がなく、小規模多機能の利用のあり方についても職員間で学ばなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①支援の統一を図るため、引き続き連絡ノートを活用するとともに日々のミーティングの時間を設け、記載内容を正確、かつ迅速に情報共有ができるように努める。②「小規模多機能型居宅介護」の利用のあり方に関して、職員間で学ぶ場を設け理解を深める。③事業所内外で、地域行事が催される時は、感染予防対策を十分に講じたうえで、地域住民との交流を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日 (18:30 ~ 19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	6人	3人	12人

前回の改善計画
①ヒヤリ・ハットする場面が当たり前にならないように、日々のミーティングや定例会議で取り上げ、情報の共有を図る。②ヒヤリ・ハット報告書の記載については、引き続き昼食休憩前やミーティング前に時間を設けて記載をすすめる、共通認識を図る。また、記載内容をもとにミーティングなどで話し合い、予防対策を検討し、実行する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①新型コロナウイルス感染予防のため、日々のミーティングや定例会議は、時間をかけて、十分に行うことはできず、情報共有には至らない時もあった。②ヒヤリ・ハット報告書の記載については、記載する時間を設けるよう努めたが、業務優先になり、時間を持てず記載に至らなかったり、ヒヤリ・ハットする場面が日常化したりしているなど記載に関する意識が低くなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	0	0	12	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	0	0	12	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	0	12	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	3	4	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①ヒヤリ・ハット報告書や事故報告書を記載、閲覧することによって、それぞれが危機感を持って支援に当たっている。②改善、変更された対応策は連絡ノートを確認したり、適時、介護支援専門員に相談したりしていることで、支援の統一を図り、再発防止に努めている。③事故報告書は振り返りができるようになっており、ヒヤリ・ハットや事故の場面につながらないように利用者の行動に注意し、見守りや支援を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防の為、研修や地域連絡会の開催がなく、参加はできていない。②ヒヤリ・ハットする場面が日常化しており、記載への意識が低く、業務優先になってしまい、記載を忘れてしまっている。③口頭だけの報告になることが多く、記載できていないことから話し合いや予防対策を検討し、実行するには不十分なところもあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①ヒヤリ・ハット報告書や事故報告書の記載については、記載に関する意識を高めるために目の付く場所に用紙を配置するとともに時間を設け、記載に努める。②ヒヤリ・ハットする場面が当たり前にならないように互いに注意し合える環境や雰囲気作りに努める。③支援だけでなく、身だしなみ・言葉遣い・態度などの接遇の向上にも努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年10月9日 (18:30 ~ 19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	2人	1人	12人

前回の改善計画
①言葉による拘束や行動制限に留意し、気付いた時には職員同士で注意し合い、接遇の改善を図る。②意思疎通が難しい利用者や同じ話を繰り返す利用者には、引き続き複数の職員で関わり、ストレスを抱え込まない環境作りに努める。③言葉遣いについては、定例会議で学ぶ時間を設け、場面に沿った言葉遣いができるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
①言葉による拘束や行動制限について、複数の利用者の支援が重なるとスピーチロックをしたり、命令口調や雑な言葉遣いになったりする時があった。②意思疎通が難しい利用者や同じ話を繰り返す利用者には、複数の職員で関わったり、対応を講じたりするなどストレスを抱え込まない環境作りに努めた。③新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言や感染予防から定例会議や研修が十分に行えず、学ぶ場が持てなかった。また、支援が重なったり、気持ちや時間に余裕がなかったりすると不適切な言葉遣いになってしまう時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	7	1	0	12
②	虐待は行われていない	9	3	0	0	12
③	プライバシーが守られている	2	9	1	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	1	9	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職員同士の声かけや関わりで身体拘束や虐待は行っておらず、利用者は施設内を自由に行動している。②意思疎通が難しい利用者には複数の職員で関わり、ストレスを抱え込まないようにしている。③支援にあたる上で、自分自身の言動を振り返り、言葉遣いや対応は意識しながら利用者へ寄り添う支援を心がけている。④個人情報の管理について、鍵付き棚に保管しているが、必要な時に閲覧できるようになっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①複数の利用者の支援が重なったり、自分自身に余裕がないとスピーチロックや命令口調になってしまったり、理解できる利用者に対しての支援が後回しになってしまったりすることがある。②職員一人でホールを対応する時には、事故防止のため、支援の場面や言葉かけで、プライバシーへの配慮が欠けてしまうこともある。③成年後見制度は、利用している利用者がおらず、学ぶ機会がないため、熟知していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①認知症の利用者には、複数の職員で関わり、ストレスを抱え込まないように努める。②虐待や身体拘束だけでなく、言葉による拘束や行動制限に留意し、利用者の意思を尊重した支援に努める。③常に利用者のプライバシーの尊重を念頭に置いて、排泄や入浴介助時の言葉かけやプライバシーに配慮した支援に努める。④就業前後のチェック表に「言葉遣い」「プライバシー」の項目を追加し、職員個々に自身の言動を振り返り、意識をしながら日々の支援に努める。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 やながせ福祉会	代表者	理事長 石田 文徳	法人・ 事業所 の特徴	利用者の希望に合わせて、鍋料理と一緒に準備し、温かいものを食することができるように支援をすすめたり、目の前で天ぷらを揚げバイキング方式で提供している。また、四季を感じられるおやつを作ったりするなど一人ひとりの生活に寄り添った支援を行うことで、利用者が有している力の継続と潜在能力の活用に努めている。コロナ禍以前には、保育園児との交流を行ったり、地域交流室をいきいきサロンやいきいき百歳体操、子育て教室に開放したりしていたなど住み慣れた地域とのつながりも大切にしている。
事業所名	第二姫路・勝原ホーム	管理者	施設長 岸原 一広		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	2人	2人	1人	0人	2人	2人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各項目の改善計画を一覧表にし、連絡ノートの表紙に貼り付けるなど可視化に努める。 計画に関する伝達内容があれば、数日間、話し続け、意識化に努める。また、意見交換をもとに進捗状況を確認し、支援をすすめる。	各項目の改善計画を一覧にし、目にする場所に掲示したが、多種多様な利用者支援から日常支援に追われ、意識化まで至らなかった。また、職員間での計画の進捗状況の確認や共通認識にもつながらなかった。	時間の許す限りの取組みができていと思う。 ・地域での暮らしを支えるための社会資源を見直し、話し合う機会を設けてはどうか。	各項目の改善計画を一覧表にし、連絡ノートに掲示することで一年を通じて課題に取り組めるように努める。 また、住み慣れた地域で利用者の望む暮らしを支えていけるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者と接する時には表情や声のトーン、態度などに留意するとともに、言葉遣いにも気をつけ、気持ちが落ち着き、過ごしやすい環境となるように努める。 また、定期的に換気や消臭を行うことで、不快を感じない環境作りにも努める。	新型コロナウイルス感染予防のため、常に換気を行ったり、利用者同士の距離を保てるよう机の配置を変更したり、仕切りを置いた。	新型コロナウイルス感染予防のため、常に換気と消毒を行っている、との説明を受けている。 ホールや玄関に季節の花が生けてあり、四季を感じられるのではないかと。	ホールの設えについては、利用者同士の距離を保ちながら、窮屈に感じないような空間作りを努める。 雰囲気については、利用者や接する時には、声のトーン、態度に留意する。
C. 事業所と地域のかかわり	介護保険制度に加えて、認知症や介護技術、生活習慣病予防に関するセミナーを地域で開催し、情報発信に努める。 事業所の知名度を高めるため、地域行事に利用者と一緒に参加するように努める。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、セミナーの開催や地域行事への参加は行っていない。	職員の挨拶については、送迎時に気持ちのよい挨拶ができています。	引き続き介護保険制度に加えて、認知症や介護技術、生活習慣病予防に関するセミナーを地域で開催し、情報発信に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	四季を感じられるようにドライブに出かけるなど、利用者に意向を伺いつつ、野外活動を企画し、実施する。 運営推進委員や地域包括支援センターとの連絡や連携を密にし、得た地域に関する情報を利用者へ発信し、希望する地域行事などへの参加支援を行う。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、ドライブに出かける機会が少なく、野外活動を企画することも難しかった。	可能な限りドライブにも出かけているのではないかと。 地域行事も徐々に開催されつつあるので、利用者も参加できればいいと思う。	四季を感じられるようにドライブに出かけたり、事業所内でのイベントを企画し、実施する。 引き続き運営推進委員や地域包括支援センターとの連絡や連携を密にし、得た地域に関する情報を利用者へ発信する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の場に出た意見をもとに事業所として、可能な地域活動を検討し、実施する。 また、介護支援ボランティアの実習機関として、地域包括支援センターと協力して、活動内容に関する情報を発信し、普及に努める。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、運営推進会議の開催が難しかった。	事業所での取組みについては、小規模たよりを見て内容を理解している。	地域セミナー等を通じて、地域住民に事業所の認識と支援の特長への理解を深めることで、地域の中でできることを取り組むことを一緒に考えていく。
F. 事業所の防災・災害対策	定期的に行っている避難訓練への参加を家族や自治会役員に依頼し、訓練内容や福祉避難所としての役割について、説明する。 また、防災計画をもとに火災時の訓練だけではなく、地震や水害など福祉避難所の開設を想定した訓練を行う。	福祉避難所の開設を想定し、備蓄している非常食の試食を行った。 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、定期的な避難訓練の実施が難しかった。	今年度は、事業所の防災訓練に参加する機会がなかった。 余部校区に避難指示が出た時には、福祉避難所として事業所を開放していた。	引き続き定期的に事業所への避難訓練への参加を家族や自治会役員に依頼し、訓練内容や福祉避難所としての役割について、説明する。

